



2学期終業式

8月28日の始業式から始まった2学期。

子どもたちは、運動会やマーチングパレード、持久走大会等の学校行事や学年行事を節目にしながら、目標をもってたくましく成長しました。授業では、各学級とも落ち着いた雰囲気の中、真剣に学習に向かう姿が見られました。一日一日の積み重ねが表れていると感じ、うれしく思います。

子どもたちが毎日元気に登校できたのも、保護者や地域の皆様のご協力や温かな見守りの賜と心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



地域の「先生」に教えていただきました

<租税教室>

12月15日、6年生を対象に「租税教室」を実施しました。

租税教室は、社会科の学習と関連して、「なぜ税金が必要か」「税金が社会のためにどのように使われているか」を学んだり、「税金がなければみんなが困ってしまう。だから、みんなで負担するものなんだ」という意識を醸成したりすることを目的としています。

講師は、一般社団法人高崎法人会松井田支部青年部会の中島様（PTA会長）、坂部様（同副会長）、中山様の3名でした。税金の流れや使われ方をカードで分かりやすく教



— 1億円（見本）の重さを体験 —

えていただいたり、DVDを視聴して学んだりしました。子どもたちは、知っている身近な保護者の方が講師になっているので、よく話を聞いたり積極的に発言したりすることができました。

授業のまとめでは、子どもたちから「税金が大切なことが分かった」「教科書を大切に使いたい」という感想が発表されました。

<書き初め教室>

12月19日（火）の3・4校時、3年生を対象にした「書き初め教室」を体育館で実施しました。

初めて書き初めに挑戦する3年生。冬休みの課題となっている書き初めが上手にできるように学習しました。講師は、小林一郎様（元松井田町教育長）で、書家としても活躍している先生です。題材となる文字は「友だち」。筆遣いや文字の配置などを教えていただいた後、体育館いっぱいに広がってそれぞれが練習しました。初めて大きな書き初め用紙に書く子どもたちでしたが、私語をすることなく熱心に取り組むことができました。小林先生からも、「とても真剣に取り組めました」とお褒めの言葉をいただきました。



— 先生の筆遣いを真剣に見る子どもたち —

この書写の学習を生かして、家庭での書き初めを頑張ってもらいたいと思います。

児童会 活発に活動しています

児童会では、児童主体による「いじめ防止」の活動に取り組んでいます。

人権集中学習期間には、11月24日に代表委員会を開き、いじめを見逃ごさないために次の2つの目標を決定し、全校の児童に呼びかけました。

いじめを見のがさないために

- ①朝、教室に入るしゅんかんに「おはよう」と言い合おう
- ②いじめられている人を勇気づけるために、自分の意見を伝え、いじめている人に立ち向かおう

いじめをなくすためにはどのようにしたらよいか、子どもたちが主体となって真剣に考えました。この目標を継続して意識できるように、支援していきたいと思います。



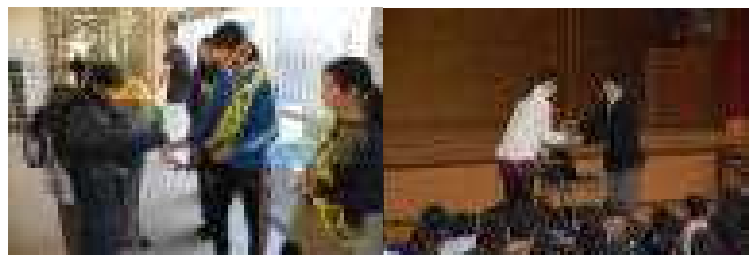
—「おはよう」と元気にあいさつ—

また、11月27日から29日まで、児童会本部役員が児童玄関に立って、赤い羽根募金活動を行いました。

集まった募金は12,133円。

子どもたちは、自分のお小遣いの中から、助けを必要としている人たちのために募金をしてくれました。やさしい気持ちと思いやりの心に感謝です。

集まった募金は12月4日(月)の児童朝礼の場で、安中市社会福祉協議会の染谷松井田支所長様にお渡ししました。ご協力ありがとうございました。



冬休みに向けて

明日から17日間の冬休みに入ります。子どもたちが、2学期の復習や家事のお手伝いに進んで取り組んだり、地域の行事に参加したりして有意義な生活が送れることを期待しています。また、交通事故等に遭わないように願っています。

子どもたちには、冬休みに向けて次の3点を終業式で話しました。



○新年を迎えます。新たな目標に向かってスタートしましょう

「一年の計は元旦にあり」です。自分の目標をもって、新年をスタートしましょう。

○忙しい年末年始。進んで家のお手伝いをしましょう

年末年始はお家の人がとても忙しい時期です。玄関掃除、風呂掃除、ガラス拭き、洗濯物たたみ、食器片付け、食器洗い、おせち料理づくりなど、できるお手伝いを進んでみましょう。

○自学自習を進めましょう

勉強する時間を決め、国語の音読や漢字練習、算数の教科書の問題やドリルのやり直しなど、2学期の復習をしましょう。

ゲームやスマホの時間や使い方は、お家の人としっかり約束をして、必ず守りましょう。

3学期の始業式は1月9日(火)です。子どもたちが元気に登校することを願っています。よい年をお迎えください。